

序章 クライメートゲート事件——暴かれた二酸化炭素原因説の陰謀 3

1——クライメートゲート事件 4

コンピュータに何者かが侵入／事件が起こるまで／二酸化炭素主因説／流出メ
ールを読み解く／批判派の圧殺／誤った統計処理を指摘する論文／次第に追い
詰められていく「チーム」／核心を突くマッキンタイアの指摘／多くの謎／一
転して被告の席に

2——IPCCとは何だったのか 29

中立ではありえない性格／IPCCは何をしたのか／IPCCはどうなるのか
——墮ちた偶像を立て直す？／誕生の時代背景／地球温暖化を種とした商取引
の場／原発推進の隠れ蓑？／今からでも遅くはない

第1章 気候変動はどうして起るのか 49

地球の気候は極めてダイナミック／南極氷床や海洋底の掘削による革命

1——気候変動の歴史から学ぶ——水河期はたびたび訪れた 54

地球の気候の歴史／現在より高温だった時期もたびたびあった／北極圏にもワ
ニのような変温動物が棲息

2——気候変動の要因は？——地球は宇宙につながっている 63

太陽、宇宙線、二酸化炭素／太陽活動との相関／二酸化炭素との相関／熱暴走
は起こらない／宇宙線の効果／太陽と地球の間の磁場／「暗い太陽のパラドッ
クス」／生物大絶滅の原因／太陽系の多くの惑星も温暖化／雲はどのようにで
きるのか／エアロゾル／宇宙線による凝集核生成／イソプレン

3——気候変動の予測——地球温暖化は進むのか？ 97

自然要因に基づく気候変動の予測／平均気温降下の予測／太陽活動の弱まり／
二酸化炭素を主因とするIPCC予測／コンピュータ・シミュレーションの恐
ろしさ／地球の平均気温とは何か、どうやって測るのか／ヒートアイランド効
果／真実に近い衛星観測のデータ

4——気候研究を振り返る 118

気候研究の最近の歩み／気候学のルネッサンス／科学者の総意ではない

5 — 流れに立ち向かった人たち 122

ヨーロッパでは／デンマークとフランス／米国での動き／米国科学アカデミー会長の請願書／わが国では／「地球温暖化問題で市民を脅かす必要はない」／ブログの世界で／マッキンタイアの「気候監査」／ワッツとモントフォード／「科学そのものの信用と信頼が失われる」

第2章 「地球温暖化」から「エネルギー問題」へ 147

キャンペーンの背景／エネルギー問題へ

1 — 日本のエネルギー事情 150

極めて貧しい事態／「排出権取引」による巨額の支出

2 — エネルギーをどこから得るか 154

現在使われているエネルギー源／化石燃料／原子力／原子力発電の二つの大きな問題／自然エネルギー／水素エネルギーシステム——一つの理想／自動車の二酸化炭素放出を減らす手段に矮小化／バイオマスエネルギー——もう一つの理想／地上の生命をつなぐかけがえのない二酸化炭素／藻類に注目／緑藻類ポトリヨコックス

3 — エネルギーをどう使うか 184

エネルギー効率とは何か／ヒートポンプとは何か／燃料電池とは何か／エネルギーを上手に使うシステム

第3章 未来のエネルギー源——核融合 195

未来の一次エネルギー源／核融合炉の二つの方式

1 — 磁場核融合——トカマク方式の今 198

高温プラズマ／ITER計画の問題点／独善的な使命感

2 — 慣性核融合——パワーレーザーが新しい時代を拓く 207

米国・国立点火施設／高速点火方式／点火競争から実用炉へ／可能性を論じているときではない／人類の未来に向かって避けては通れない道

第4章 これからどうするか 223

プロトンと地球の水とが演じるドラマ／現状認識のまとめ／わが国がおかれた状況／いま、何をなすべきか／温暖化対策費のすべてを災害復興へ

◎付録1／地球環境——気候変動の舞台

237

①地球を取り巻く宇宙の環境

②地球表面の水

③気候を決める水の働き

④大気はどのようにしてきたのか

◎付録2／引用文献 268

あとがき 250